

まちづくりセンター1階のおすすめ散策ルートでは、函館・大沼・噴火湾ルートの旬の情報をご紹介しています。



HOKKAIDO

シニックバイウェイ北海道 函館・大沼・噴火湾ルート

シニックバイウェイ北海道「函館・大沼・噴火湾ルート」運営代表者会議は、今年度も様々な活動に取り組んできました。

ここでは、それらの抜粋した活動を取り上げ、下記に紹介します。

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Onuma-Frankawan Scenic Byway

汐首岬灯台におけるシニックデッキ設置に向けた検討

【内 容】ルート内のピューポイントである汐首岬灯台におけるシニックデッキ設置に向けた検討を行った。まず灯台の付近の事前調査を行い、灯台の管理者である函館海上保安部にシニックバイウェイ北海道やシニックデッキ設置に向けたルート運営代表者会議の意向を伝えるなどして、灯台開放に向けた協議を重ねてきた。また灯台開放の了承は得られていないが、今後モニター調査やアンケート調査を実施し、ピューポイントとしてのニーズ把握やPRを行う（平成21年4月予定）ことにより、シニックティキの実現に向けた取り組みを継続していく。

【日 時】平成20年7月～平成21年3月

【場 所】函館市

【主 催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議事業分科会



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Onuma-Frankawan Scenic Byway

シニック清掃活動

【内 容】4月29日を“シニックの日”に制定し、ルート内の各地域で一斉に清掃活動を行う取り組みとして、今年度から始まった。今年度は、函館市では五稜郭タワー周辺及び函館市地域交流まちづくりセンター周辺、七飯町では田園通り及び大沼周遊道路で実施した。

【日 時】平成20年4月29日(祝) 8:00～12:00

【場 所】函館市・七飯町

【主 催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【協 力】(株)五稜郭タワー、自然公園財団大沼支部、山川草木を育てる会大沼本部、函館開発建設部、七飯町



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Onuma-Frankawan Scenic Byway

シニックdeナイト

【内 容】今年で3年目を迎えるシニックdeナイト2009。キャンドルづくりから、冬の夜空の下道路沿いにキャンドルを設置・点灯する地図民参加型のイベントである。年々、実施地域・参加団体が拡大し、地域の輪が広がっている。

【日 時】平成21年2月7日(土)～平成21年2月15日(日)

【場 所】函館市・七飯町・八雲町

【主 催】シニックdeナイト2009実行委員会



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Onuma-Frankawan Scenic Byway

ルートマップの作成

【内 容】地域活動団体がおすすめする情報を基にルートマップを作成した。ルートマップ表面では観光施設などのポイントを落としたルート全体のマップであり、ルートマップ裏面では、「食」をテーマとした市町の飲食店についての掲載を行った。

【日 時】平成20年4月～平成21年3月

【場 所】函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・八雲町

【主 催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議事業分科会



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Onuma-Frankawan Scenic Byway

函館新道における花の活動

【内 容】今年で5年目を迎えた函館新道における植栽活動である“はこだて花いどう”。年々規模を拡大しており、片側600mの区間に花苗約10,000株、参加人数750人で6月に植栽活動を実施した。水やりや雑草取りなどの維持活動を経て、11月に撤去活動を行った。また、撤去した活動は次年度の肥料に再利用する堆肥づくりなど活動の幅も広がってきている。

【日 時】平成20年6月～平成20年12月

【場 所】函館新道

【主 催】函館花いっぽい道づくりの会



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Onuma-Frankawan Scenic Byway

洞爺湖サミット記念の森事業

【内 容】この活動は、現在シニックバイウェイ北海道で展開されている「シニックの森づくり」に関連する事業であり、また、本年7月に洞爺湖にて開催されるサミットの記念事業として実施した。当日は約150名が参加し、ミズナラ1,400本の植樹を行った。

【日 時】平成20年6月1日(日) 9:30～12:00

【場 所】西大沼国有林

【主 催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

